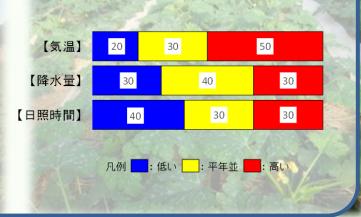


今月の情報

- 1. 令和4年度 水稲生産を振り返って
- 2. 園芸野菜 病害虫防除情報
- 3. サツマイモポット苗育苗と防除のポイント
- 4. 安全な農作物生産の取り組みについて
 - ~農薬・肥料の保管方法~

12月の気象について (気象庁 12/1 発表 長期予報 (1 か月) から)

- 1.12月は気温、降水、日照いずれも平年並みで晴れの日が多くなるなる予報です。
- 2. 期間の前半は気温変動が大きくなると予想 されているため、施設での温度管理には十分 注意しましょう。



<農薬の残留に注意!>

- ①農薬の使用基準は守りましょう!
- ②周囲への農薬飛散「ドリフト」対策を行いましょう!
- ③散布器具は毎回しっかりと洗浄しましょう!
- ④農薬散布記録簿への記帳は忘れずに!



注意とお願い

農薬登録内容は掲載時点の情報です。農薬を使用する際に必ず最新の登録内容をご確認ください。

令和4年度 水稲生産を振り返って

J A全農ちば 営農支援部

1. 令和4年度産水稲 千葉県の作柄概況

関東農政局の作柄概況 (11月9日公表) によると、令和4年産の作柄は10a あたり収量544kg (作況指数100) となりました。

県全体では、穂数は平年並み、1穂あたりのもみ数がやや少ないことから、全もみ数は「やや少ない」結果となりました。登熟については、「やや良」が見込まれます。

表 1. 令和 4 年産水稲の作柄概況

			平年比較		
区分	作況指数	穂数の多少	1穂あたりの もみ数の多少	全もみ数 の多少	登熟の良否
千葉県	<mark>100</mark>	平年並み	やや少ない	やや少ない	<mark>やや良</mark>

*農林水産省関東農政局 農林水産統計より

2. 時期別振り返り

(1) 育 苗 期

3月は気温が概ね高く推移しました。気温上昇に伴って苗の生育が早まり、本田の準備(代かき作業等)に追われて育苗管理に手が回らなかったこと等により、苗が老化・徒長しやすい状況が続きました。

(2)移植期から分げつ期

4月中下旬は最高気温が30°C近く上昇した日がある一方で、最低気温は5°C付近まで低下する日もあり、例年以上に寒暖差がありました。また、ゴールデンウィーク以降の降雨・低温が例年より多くありました。6月以降は日照も多く推移し、生育も回復傾向となりました。

(3) 幼穂形成期から出穂期

幼穂形成期から出穂期前にあたる7月中旬は日照が少なく、特に内湾の地域で顕著でした。

(4) 出穂後から成熟期

登熟期間中の台風の接近や降雨によって倒伏が発生し、登熟への影響が懸念されました。 収量は平年並みとなりましたが、登熟初期の高温影響とみられる「白未熟粒」の発生が多い傾向でした。

3. 次作に向けて

登熟の向上をはかるため、土壌診断を積極に実施し、不足栄養分の補給や土づくりを行いましょう。

表2. 土づくり肥料の特徴と使用方法

目的	肥料名	施用量(10a)	特徴		
ケイ酸の補給	農力アップ	O F供	従来のケイ酸質資材と比較して作物の利用効		
	(ケイ酸 20%)	3~5袋	率が高い。根腐れ・秋落ち対策にも有効。		
	ケイカル	F 1 0 代	水稲の根から出る有機酸に溶けて吸収される		
	(ケイ酸 30%)	5~10袋	ので秋施用が効果的。		
りん酸の補給	苦土重焼りん		く溶性りん酸と水溶性りん酸双方の特性を併		
	(りん酸 35%・	2袋	せもつため、全生育期間にわたってりん酸を		
	ケイ酸 9.4%)		効かせることができる。		

園芸野菜 病害虫防除情報

J A全農ちば 営農支援部

1. はじめに

12月は平年並みの天候が続くと予想されています(気象庁1か月予報より)。病害虫の発生が平年よりも少なく推移している地域もみられますが、油断せず、徹底した防除を心がけましょう。 また、施設栽培では温度および湿度の管理に注意しましょう。

2. トマト・ナスー灰色かび病・うどんこ病 引き続き施設での発生に要注意!

(1) 灰色かび病

灰色かび病は20℃前後の気温と多湿を好みます。夜間、ハウスを閉め切る時期は湿度が高くなりがちです。除湿のために天窓換気、暖房機による早期加温、空運転等を実施するほか、薬剤散布はなるべく午前中に行い、ハウスを閉め切るまでに薬液が乾くようにしましょう。

また、果実に付着した花弁や枯れた葉が残っていると、灰色かび病の発生源になります。同様に、発病した葉や果実を通路に放置せず、必ずハウスの外へ持ち出して処分しましょう。



果実に寄生した灰色かび病

(2) うどんこ病

トマトやナスなどのナス科作物のうどんこ病には、表生型と 内生型の2種類があります。表生型は植物体の表面に寄生しま すが、内生型は葉の内部にも病原菌が広がるため、防除がより 困難になります。<u>内生型は主に葉裏の気孔から侵入するため、</u> 薬剤散布の際は、葉裏まで薬剤がかかるように丁寧に行いまし よう。



葉のうどんこ病の病斑

(3) 薬剤防除 ※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

●トマト 灰色かび病・うどんこ病 防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
正名 かった	M7	ベルクートフロアブル	2000		3 回以内	予防
灰色かび病 うどんこ病	7	アフェットフロアブル	2000		3 回以内	予防
ノとんこ物	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000	収穫前日	2 回以内	予防・治療
	12	セイビアーフロアブル 20	1000	・ 収度削口 まで	3 回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤	1000	& C	5 回以内	予防・治療
うどんこ病 -	3+U6	パンチョ TF 顆粒水和剤	2000		2 回以内	予防・治療
	50	プロパティフロアブル	3000		2 回以内	予防・治療

●ナス 灰色かび病・うどんこ病 防除薬剤

対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
正名 かび声	M7	ベルクートフロアブル	2000		3 回以内	予防
灰色かび病 うどんこ病	7	アフェットフロアブル	2000		3 回以内	予防
ノとんこ物	9+U13	ショウチノスケフロアブル	2000	収穫前日	2 回以内	予防・治療
 灰色かび病 -	12	セイビアーフロアブル 20	1000	・ 収穫削口 まで	3 回以内	予防
	1+10	ゲッター水和剤	1000	<i>a</i> C	5 回以内	予防・治療
うどんこ病 -	3+U6	パンチョ TF 顆粒水和剤	2000		2 回以内	予防・治療
	50	プロパティフロアブル	3000	•	3 回以内	予防・治療

3. レタス - 灰色かび病・菌核病

レタスの灰色かび病と菌核病は、ともに冬期の霜や凍害で傷んだ下葉から発病し、最終的には結球に腐敗を引き起こす病害です。トンネル栽培では結球期前の防除が重要になります。薬剤散布をする際は、できるだけ株元にも薬剤がかかるようにしましょう。



菌核病の被害株

(1) 灰色かび病

地際に<mark>灰色のカビ</mark>が発生し、のちに結球表面にも進展します。軟弱な葉の一部には<mark>褐変</mark>も見られます。乾燥しているときには被害はあまり見られませんが、曇雨天が続く場合には結球内部および表面に急激に被害が進展する病害です。

(2) 菌核病

地際や葉の裏に<mark>綿のような白いカビ</mark>が発生します。湿度が高いと、やがて結球表面にも<mark>黒い菌核</mark>が発生し、被害が進展すると結球が腐敗して枯れてしまいます。

(3)薬剤防除 ※希釈倍数は登録のうち最大濃度を示している

●レタス 灰色かび病・菌核病 防除薬剤

	<i>></i> \					
対象病害	FRAC	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
灰色かび病 ・菌核病	11	アミスター20 フロアブル	2000	収穫7日前	4 回以内	予防・治療
		メジャーフロアブル	2000	収穫3日前	3 回以内	予防・治療
	7+11	シグナム WDG	1500	収穫7日前	2 回以内	予防・治療
	1+10	ゲッター水和剤	1500	収穫7日前	2 回以内	予防・治療
	2	ロブラール水和剤	1000	収穫 14 日前	3 回以内	予防・治療

サツマイモポット苗育苗と防除のポイント

JA全農ちば 営農支援部

メリクロン苗の導入は、**いもの早期肥大や形状・皮色・貯蔵性の向上**が期待できます。苗を効率的に増殖しサツマイモの品質向上に努めましょう。また、本年も1月中旬よりメリクロン苗の配布が始まります。まだご注文がお済みでない方はお近くのJAへ問い合わせ下さい。

ポット苗 育苗管理

1. 育苗床の準備

- (1) ポット苗の届く1か月前を目安に苗床の準備を行いましょう。
- (2) 前年につる割病などが発生した苗床は太陽熱消毒などの実施が望ましいです。(夏季)
- (3) 肥料は窒素・りん酸・加里をm当たり20~30g(成分量)入れましょう。
- (4) 窒素の半量は緩効性肥料を使いましょう。

2. 苗が届いたら・・

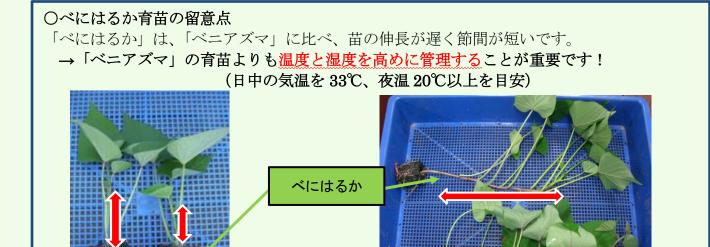
育苗中になるべくイモの着生を抑える⇒苗の伸長が良くなる

- (1) 生育不良株がないかを確認しましょう。
- (2) 赤根を取り除き、直ちにポット苗を定植しましょう。
- (3) 定植後はたっぷりと灌水を行いましょう。

3. ポット苗定植後の管理

夕方の保温は早めに行い夜温の低下を防ぐ(午後3時頃を目安)

- (1)活着まではしっかり保温、夜間は状況に応じて保温シートをトンネルの上にかけましょう。
- (2) ハウス内の地温を 25~30℃程度で維持しましょう。
- (3) ハウス内の気温は、日中 $25\sim30^{\circ}$ C、夜間は最低 15° Cを維持しましょう。
- (4) 低温と土壌の乾燥は生育を停滞させ増殖率の低下を招きます(芋の着生など)。
 - →保温と灌水(1回の量を減らし回数増やす)をしっかりと行いましょう
- (5) 採苗後の追肥(㎡あたり窒素 30gを目安)で草勢を維持することがポイントです。また、 晴天時はトンネル換気に注意し葉焼けを防止しましょう。



ベニアズマ

病害虫防除

○防除を考えるときに注意すること

ハウスで発生している害虫は何?ハウスで初発生したのはいつ?どこで? 前年発生した場所・時期は特に注意して観察し、早めの防除を心掛けましょう

1 基腐病

育苗床から本圃への持ち込みには厳重注意!

基腐病対策の基本は、本圃に病原菌を「持ち込まない」ことです。苗からの持ち込みを防ぐため定期的な苗の更新、苗床消毒および苗の消毒による健全な生産を心がけましょう。また、購入した苗の記録は保管しておきましょう。

(1) 防除薬剤

□ : ベンレート水和剤 500~1000 倍/1 回 植付前 30 分間苗浸漬

(2) 収穫後の本圃の管理

収穫が完了した圃場はツルなどの残さをできるだけ持ち出し、収穫後は地温が高く、 土壌水分があるうちに耕うんを行うことで、有機物の分解が促進されます。

(3)種イモの管理方法1)

貯蔵前の処理として

収穫 ⇒ 水洗+選別後、なり首・尾部 2)切除、種イモ消毒+乾燥 3)

⇒貯蔵 ⇒選別 ⇒苗床へ

という工程を踏むことで、貯蔵中の発病リスクを軽減できます。

なり首 切る 尾部 切り口の直径が100円玉くらい

ハサミ・刃物の

消毒を忘れずに!!

- 1) 参考資料:農研機構「サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策(令和3年度版)」
- 2) 尾部の切除は乾腐病等による貯蔵腐敗の予防のため。
- 3) 黒斑病対策としてトップジン M 水和剤 200 倍液に 30 分間浸漬(塊根切除後、速やかに実施)し、日陰に並べて表皮が乾いたことを必ず確認してから貯蔵する(ただし、 10° と以下の低温にさらさないように注意する。

2 つる割病

土壌伝染性で苗の切り口や細根の傷口から侵入し、感染します。 茎の地際部が縦に裂開してつる割れとなり、葉は紫褐色から黄変して落葉します。

(1) 防除薬剤

床土・堆肥: クロールピクリン 3~5ml/1 穴 1回(処理後、被覆が必要)

クロピク80、ドロクロール、ドジョウピクリン等 使用回数は合わせて1回

苗:ベンレート水和剤 500~1000 倍/1 回

植付前 20~30 分間苗基部浸漬 もしくは挿苗時株元潅注(20~40ml/株)

(2) 夏季の太陽熱消毒

梅雨明け頃から育苗ハウスの太陽熱消毒をすることで、つる割病、立枯れ病、ネコブセンチュウ等の防除効果があります。以下の手順で行いましょう。

- ア. 育苗終了後、株を抜き取り残渣等が無い状態にする。
- イ. 灌水チューブで一昼夜を目安に十分灌水した後、古ビニールやポリフィルムでハウス全面 を被覆する。
- ウ. 20~40 日間ハウスを密閉し、高温状態を維持する。

農作業安全管理機による巻き込まれ事故注意! 食の安全安心農薬の調合順序①展着剤②乳剤③フロアブル・水和剤の順 ※ 本資料の無断使用・複写・転載を禁じます JA全農ちば

3 アブラムシ類

・生育初期につるの先端に寄生し、ウイルス病を伝搬します。

・葉に寄生し、吸汁加害するため、生育が抑制されます。

○防除薬剤:アドマイヤー顆粒水和剤 <u>10000 倍</u> 収穫 7 日前まで/2 回以内

トレボン乳剤 1000 倍 収穫 7 日前まで/3 回以内 コルト顆粒水和剤 4000 倍 収穫前日まで/3 回以内

4 ハダニ類

・葉裏に寄生し、葉を吸汁加害して生育が抑制されます。葉表から吸汁箇所がかすり状に 透けて見えます。

○防除薬剤:マイトコーネフロアブル 1000 倍 収穫 3 日前まで/1 回

コロマイト乳剤 1000 倍 収穫前日まで/2 回以内

コテツフロアブル 2000 倍 収穫前日まで/2 回以内

5 コナジラミ類

・成虫、幼虫が葉の裏面から吸汁して加害します。

・密度が高いと白化現象、退色、萎凋等が起こることがあり、すす病も併発します。

○防除薬剤:サンマイトフロアブル 1000~1500 倍 収穫前日まで/2 回以内

ベストガード水溶剤 1000 倍 育苗期/3 回以内

コルト顆粒水和剤 4000 倍 収穫前日まで/3 回以内

安全な農作物生産の取り組みについて ~農薬・肥料の保管方法~

JA全農ちば 営農支援部

1. 農薬と肥料はきちんと保管しましょう!

農薬には毒物や劇物などの危険物が、肥料には発熱・発火・爆発の恐れがあるものがあり、<mark>管理 方法を誤ると重大な事故につながる資材</mark>であることを改めて認識する必要があります。特に、盗難 や紛失は大きなリスクを伴います。また、家族や従業員による農薬の誤飲・誤使用を無くすために もきちんとした保管・管理を行いましょう。

2. 農薬の保管方法



(1)医薬用外毒物劇物の表示をしましょう!

- ⇒事故の未然防止
- (2)施錠をしましょう!
 - ⇒農薬の恣難・紛失の防止
- (3)空容器への移し替えは避けましょう!
 - ⇒誤飲事故の防止 H28~R2 年度の5年間で 26 件の誤飲誤食事故が 発生しています(農林水産省調べ)

3. 肥料の保管方法



(1)野ざらしは避けましょう!

- ⇒肥料の劣化・成分流出の防止 雨風や直射日光を避けるために屋根がある場所に 保管、ブルーシートなどをかけるのも有効です
- (2)直置きは避けましょう!
 - ⇒肥料の劣化防止 湿気による劣化や包装の傷みを防ぐため、肥料は土 や床の上に直接置かず、パレットなどの上に置きま しょう

4. 在庫管理について

農薬と肥料は購入数・使用数が分かるように在庫管理を行いましょう。栽培記録等で使用量の詳細が把握可能であれば、袋・ボトル数単位の管理から始めましょう。在庫管理をすることで、無用な追加購入を避けることができます。また、盗難・紛失等の事件・事故が発生した場合に、迅速に状況を把握することができ、さらに自身の使用状況を客観的に他者に伝えることができます。

記録例⇒

資材A	8月1日	8月5日	8月27日	9月5日	9月19日	9月25日	10月8日	10月18日
入庫(kg)	80				90			
出庫(kg)		15	15	15		15	15	15
在庫(kg)	80	65	50	35	125	110	95	80